

マイナンバーカードの 図書館利用とは…

総務省では、カードのマイキー（電子証明書および IC チップの空き領域）部分を活用して、図書館など公共施設の利用者カードや商店街のポイントカードとして利用するための共通情報基盤「マイキープラットフォーム」の実証実験を計画しており、昨年12月14日には図書館向けの説明会も開催されましたが、詳細についてはわからないことが多いです。

そこで、図書館の自由委員会では、マイナンバーカードを図書館利用カードとして利用することのメリット・デメリットについて、総務省説明会での説明とこれまでに得られた情報に基づいて論点整理をし、さらに技術的側面からの解説と検討を行う学習会を開催します。

公共図書館、大学図書館を運営する方や利用する方、どなたでも関心のある方はご参加ください。

2017年 1月30日(月)

13:30～16:30

資料費 500 円 要参加申込

大阪市総合生涯学習センター 第1研修室

大阪市北区梅田 1-1-2-2-500 大阪駅前第2ビル

<http://osakademanabu.com/umeda/access>



【主な内容】

● 論点整理

奥野 吉宏 氏

(日本図書館協会 図書館の自由委員会・図書館システムのデータ移行問題検討会)

● 技術的側面からの解説と検討

吉本 龍司 氏

(株式会社 カーリル 代表取締役)

● 申込み

電子メールでお申込みください。件名は「学習会参加」として、氏名・所属・連絡先をお知らせください。
※当日参加も可能ですが、準備の都合上できるだけご連絡ください。

● 申込み・問合せ先

nlijuyjla@yahoo.co.jp (エヌ エル ジエイ アイ ワイ ユー ジエイ エル エイ★～)

(上記の★を@に置き換えてください。)

主催 日本図書館協会 図書館の自由委員会